

乙女高原ファンクラブ 2012年度 活動報告(ダイジェスト版) 2012.3. ~ 2013.2.

こんな1年間でした

1. 1年間で15名の入会者があり、現在、総入会者数は648名です。
2. 活動への参加者数はのべ590人でした(2004年度:811人, 2005:1200人, 2006:1378人, 2007:1344人, 2008:1253人, 2009:1176人, 2010:834人, 2011:758人)。
3. 第13回遊歩道作りを予定通り実施。同時に麻布大学高槻研究室によってロープに調査用タグを付けました。後日、同研究室によって方形柵を設置しました。
4. 昨年に引き続き、5~6月に案内人の依田さんを講師に3回のスマイル観察会を実施。
5. 6月・8月・9月と年3回のマルハナバチ調査を行うのは10年目となりました。
6. 牧丘第一・第三小, 塩山高校, 牧野植物同好会, 千葉中央博物館友の会から高原案内の依頼があり, 案内人が対応しました。
7. 8月に乙女高原キャンプを行いました。乙女高原星空観望会と共催で, 1日目に杭づくり・懇親会・星空観望会を, 2日目に「乙女高原を歩こう」を行いました。
8. 案内人の雨宮さんを中心に, ロッジ前の看板の修理, テーブルとベンチの新設と修理, 百葉箱の設置を行いました。
9. 10月に群馬県みなかみ町で行われた第9回全国草原サミット・シンポジウムに参加。全体会でファンクラブの活動報告をしてきました。
10. 11月に第13回目となる草刈りボランティアを実施しました。184名が参加。昨年に引き続き, 東京農工大星野研究室・(株)田丸と協力して刈り草を琴川ダム残土処分場に運び込んで草原の再生をめざす「藁撒きプロジェクト」に取り組みました。
11. 第12回乙女高原フォーラムには67名の参加者があり, 「高原の植物のオモシロ私生活」をテーマに, 植物生態学者・多田多恵子さんのお話を中心に行いました。
12. フォーラムに関連して市民会館ロビーで『ようこそ乙女高原へ』展を行いました。
13. 次の団体から助成金・寄付金をいただきました。山梨市観光協会牧丘支部(1万円), (株)田丸グリーン基金(10万円), イオン石和店・マックスパリュ東海(9,800円), 成城学園生物部年輪会(3万円), 山梨技建(25,416円), 山梨市「乙女高原保護活動事業」補助金(7万円), アイオイニッセイ同和損保(64,686円)。
14. 計10回の乙女高原連絡会議・世話人会を開催し, 各行事の計画を立てたり, 実施後の反省を行ったりしました。連絡会議では山梨県・山梨市の担当者も交え, 企画を練ったり, 実施後の反省を共有したりしました。
15. 会報「乙女高原が好き!」を年4回発行しました。
16. メールマガジンを年18回配信し, ホームページの情報をこまめに更新しました。
17. 2006年に始めた中型ほ乳類(テン)の糞サンプリング調査を継続しました。
18. 2009年に始めた昆虫相調査を継続しました。
19. 2009年に始めたデータロガーによる気温の計測を継続しました。
20. 遊歩道づくり, 草刈りボランティア, 乙女高原フォーラムは県・市との共催事業でした。今後とも行政との協働で乙女高原の自然を守り育てていきたいと思ひます。

1年間のおもな活動の足跡

3/11 2011年度定期総会



牧丘総合会館を会場に行われました。出席 21 名。委任状 111 名。竹越山梨市長も来賓として出席してください、来年度の活動計画等が決められました。
14:00 -15:00

3/11 座談会



総会後に、話題提供者として県みどり自然課自然保護担当の小俣 謙さんをお願いし『県の野生動物(シカ)管理の現状と展望』というテーマでお話いただきました。15:00 -17:00

5/13 第 13 回遊歩道作り



参加者 80 名。天気と大勢の参加者に恵まれ、ロープ張りが行われました。同時に麻布大学高槻研究室により、調査のためロープにタグが付けられました。
9:30 -12:30

5/13 第 1 回スミレ観察会



参加者 23 名。遊歩道作りの午後、依田さんを講師に実施。開花しているスミレは 7 種類ありました。年 3 回のスミレ観察会を行うのは 2 年目です。
13:30 -15:30

5/19 方形柵の設置



高槻研究室の皆さんが 1m 四方の方形柵 5 基を草原内に設置し、シカの植物への影響を調べることになりました。
10:00 -12:00

5/27 第 2 回スミレ観察会



参加者 45 名。すごくたくさんの参加者がありました。開花しているスミレは 10 種類でした。
10:00 -14:30

6/10 第 3 回スミレ観察会



参加者 20 名。1 回目と同じく依田さんを講師に実施。開花しているスミレは 7 種類。真っ白なシロバナサクラスミレを 2 年ぶりに確認しました。10:00 -14:30

6/24 第 10 期マルハナバチ調べ隊



参加者 18 名。ラインセンサスで計 16 頭のマルハナバチを確認できました。午後からはブナじいさんまでの自然観察ハイクを行いました。10:00 -14:30

7/6 他 小学校他の案内

No photos

この日は牧丘第三小学校 3・4 年生 13 人を案内しました。この夏、他には牧丘第一小、牧野植物同好会、千葉中央博物館友の会の案内をしました。

8/5 第10期マルハナチ調べ隊



参加者10名。ラインセンサスの結果は65頭。午後からは待ち伏せ調査を実施しました。
10:00 -14:30

8/7 他 看板等の修理



案内人の雨宮さんを中心に、自主的にロッジ前の看板やベンチ・テーブル、百葉箱の修繕や設置を行いました。

8/18 遊歩道の杭作り



18~19日に行われた乙女高原キャンプ(乙女高原星空観望会とコラボ企画)の1日目。参加者16名。夜は星空観望会,懇親会。たくさんの星を見せてもらいました。9:00 翌 12:30

8/19 乙女高原を歩こう



キャンプの2日目には,乙女高原星空観望会の皆さんもお誘いして『乙女高原を歩こう』を実施しました。参加者20名。

9/9 第10期マルハナチ調べ隊



参加者10名。ラインセンサスの結果は11頭。午後からは待ち伏せ調査を実施しました。
10:00 -14:30

10/27 -29 全国草原シンポジウム・サミットに参加



群馬県みなかみ町で行われた会に参加。阿蘇・みなかみの2団体とともに事例報告をさせていただきました。

11/23 第13回草刈りボランティア



参加者184名。全国的に雨でしたが奇跡的に実施できました。ブナじいさんのキッズプログラムや東京農工大学星野研究室の藁撒きも継続できました。
9:30 -13:00

1/14~2/2 乙女高原展



山梨市民会館ロビーをお借りした展示会。ファンクラブの活動報告パネル,鈴木さんの写真などを展示しました。

2/2 第12回乙女高原フォーラム



山梨市民会館ちどりの間にて。「高原の植物たちのオモシロ私生活」をテーマに,植物生態を研究し,多くの人に伝えている多田多恵子さんをゲストに迎えて行いました。

乙女高原ファンクラブまで。乙女高原ファンクラブから。

- 1998.8 乙女高原自然教育研究会執筆・写真・編集による『乙女高原フィールドガイド』発行。
- 1999.9 「乙女高原の森」連絡会議発足。
- 2000.3 乙女高原スキー場用地使用協議の廃止。
- 2000.10 「乙女高原の森」連絡会議「乙女高原の森の保全および活用に関する提言」を県に提出。
- 2000.11 第1回「乙女高原の草原を守る！」草刈りボランティア開催。

2001.4 乙女高原ファンクラブ発足 発足記念映画会 吉永小百合『明日は咲こう花咲こう』

- 2001.5 草原内の遊歩道を全面的に改定。土壌流失のひどい遊歩道は閉鎖。新游歩道開設。
- 2001.11 乙女高原ファンクラブ公式ホームページ公開開始。
- 2002.3 **新事業**・第1回乙女高原フォーラム開催（ゲストは西丸震哉さん）西丸流自然とのつきあい方
- 2002.11 やまなし山の日イベント大賞受賞（受賞対象は乙女高原自然講座）
- 2003.4 **新事業**・乙女高原案内人養成講座スタート（03,04,05,08の4期）
- 2003.6 イタドリ刈り取り実験用コドラート設置
- 2003.6 **新事業**・マルハナバチ調べ講座スタート。（毎年3回）
- 2003.10 乙女高原で8月にマーキングされたアサギマダラが愛知県田原市衣笠山で再捕獲
- 2003.10 土壌観察会（筑波大学土壌環境化学研究室と共催）
- 2003.11 第4回乙女高原の草原を守る！で、キッズボランティア開始
- 2004.1 やまなし環境財団より若宮賞受賞
- 2004.4 (株)田丸グリーン基金より協力参加費をいただく。（以後、毎年）
- 2004.6 **新事業**・イタドリ刈りスタート。（2007年まで4年間）
- 2004.7 乙女高原案内人による夏の自主インタープリテーション活動開始（以後、毎年）
- 2004.12 真っ赤になったグリーンロッジの屋根について町と町教育委員会に意見書提出
- 2005.4 「みどりの日」自然環境功労者環境大臣表彰受賞
- 2006.1 **新事業**・山梨市民会館ロビーにて乙女高原展開催（以後、毎年）
- 2006.5 月に一度の乙女高原案内人勉強会スタート
- 2006.9 コカ・コーラ環境教育財団より環境教育賞主催者賞をいただく。
- 2006.12 山梨鈴木助成事業財団の助成により『乙女高原案内人 誕生と成長の記録』刊行。
- 2007.3 石和サティの「しあわせの黄色いレシートキャンペーン」に参加。
- 2007.6 全労済の助成金を活用し乙女高原フィールドガイド 『マルハナバチ』を作成。
- 2007.10 乙女高原案内人勉強会スペシャルツアーとして霧ヶ峰のインタープリテーションを体験。
- 2008.6 **新事業**・アサギマダラ調べ隊スタート（マーキングされたチョウが兵庫・高知で再捕獲）
- 2009.4 (株)田丸グリーン基金を活用し、乙女高原フィールドガイド 『お花たち』を改訂増刷
- 2009.6 **新事業**・乙女高原の昆虫相調査スタート
- 2009.7 (社)関東建設弘済会「関東・水と緑のネットワーク拠点百選」に当選
- 2009.11 第10回草刈りを記念し、多大な貢献のあった10団体に感謝状と記念品贈呈
- 2009.11 **新事業**・乙女高原に自動温度記録計設置（気温・地温）。計測スタート
- 2010.5 **新事業**・草原2箇所、湿地1箇所、計3箇所にシカ柵設置。以後、モニタリングを行う。
- 2010.11 乙女高原が山と渓谷社・日本山岳遺産基金による「日本山岳遺産」に認定される。
- 2011.5-6 3回のスマイレ観察会を実施。
- 2011.6 麻布大学高槻研究室のシカ柵内外の植物調査に協力。
- 2011.11 東京農工大星野研究室・(株)田丸の協力で藁撒きプロジェクト(刈り草を残土処分場へ)を実施。
- 2012.1 乙女高原フィールドガイド 『スマイレ』を発行。
- 2012.8 自主的に百葉箱を設置、ベンチ・テーブルの修理と新設、案内板を修理。

乙女高原ファンクラブへの連絡先

【事務局】植原 彰(方) 〒404-0013 山梨県山梨市牧丘町窪平 1110-3
TEL FAX 0553-35-3682 電子メール otomefc@fruits.jp
ウェブページ <http://fruits.jp/~otomefc/>

郵便振込 (番号)00220-8-71093 (加入者名)乙女高原ファンクラブ